

取組方針のフォローアップ

姫路河川国道事務所の取組内容

マイ・タイムライン作成講座の開催

- マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもの。
- 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されている。
- 姫路河川国道事務所では、**揖保川沿川市町と協力してマイ・タイムライン作成講座を実施。**

○揖保川沿川市町におけるマイ・タイムライン作成講座の実施状況



- 開催日: R3.10.16
- 場 所: たつの市
- 参加者: 39人



マイ・タイムライン作成の様子



コロナウイルス感染症対策を講じ、
スクール形式で講座を開催

- 開催日: R6.2.17
- 場 所: 姫路市
- 参加者: 約40人



姫路市マイ・タイムライン作成講座実施状況

マイ・タイムライン作成講座の開催

- マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもの。
- 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されている。
- 姫路河川国道事務所では、姫路市と協力して、**姫路市民に向けてマイ・タイムライン作成講座を開催。**

○姫路市民向けにマイ・タイムライン作成講座を開催

- 日 時：令和6年2月17日（土）10：00～12：00
- 場 所：姫路市防災センター 5階 多目的ホール
- 参加者：約40人



マイ・タイムライン作成講座実施状況



気象予報士 服部氏による説明



手話通訳者による説明



マイ・タイムライン作成講座実施状況

サンテレビ NEWS

TOP | 事件・事故 | 地域・まち | 文化・スポーツ | トレンド情報 | サンテレビHP

2024年02月19日(月曜日) 18:03 地域・まち

「何も無い時に行動を整理しておく」マイ・タイムライン作り災害に備える

マイタイムライン
台風や大雨などの災害時 どのように避難するかを事前に決め 防災行動計画に役立てるもの

台風や大雨に備え、災害時の行動予定などを事前に決めておく「マイ・タイムライン」の作成講座が、兵庫県姫路市で開かれました。

「マイ・タイムライン」は、台風や大雨などの災害時に自分がどのように避難するかをあらかじめ決めておき、いざという時の防災行動計画に役立てるためのものです。

今回の講座は、近年増えている水害に対する避難の意識を高めてもらうと姫路河川国道事務所などが開催。

防災士の資格を持つ気象予報士の服部由佳さんが講師を務めました。

（気象予報士 服部由佳さん）
「家屋の倒壊の危険があるのか土砂災害の恐れがあるのか、そういったことをチェックします」

参加者は、服部さんの説明を受けながら自分が住む地域の浸水想定などを学びつつ、「マイタイムライン」を作成していました。

（気象予報士 服部由佳さん）
「台風が発生し近づいている、大雨が降っている状況では、どういう行動をとっていいかわからず考えられない。何も無い時に行動を整理しておくことは、大変重要になってくると思います」

参加者がそれぞれ作った「マイ・タイムライン」は、今後災害時に活用されるということです。

取組を実施した効果、成果

- ◆ 命を守るためにマイ・タイムラインを事前に作成することが有効であると、住民の理解を深めることができた。
- ◆ 手話通訳により、聴覚障害のある参加者も講座に参加することができ、マイ・タイムライン作成に取り組んでいただけた。

緊急WEB会議の予行演習と運用マニュアル（案）の作成

- 災害発生時等において、各機関が情報共有・合意形成を行うために緊急的に実施するWEB会議、「**緊急WEB会議**」の運用開始に向けて、関係機関における**予行演習**を実施しました。
- 予行演習を踏まえて、緊急WEB会議の運用フローやWEB会議の概要をまとめた、**運用マニュアル(案)**を作成。

○予行演習の概要

- 日 時：令和5年9月7日（木）16時～17時
- 参加機関：神戸地方気象台、兵庫県、姫路市、たつの市、宍粟市、太子町、西日本旅客鉄道（株）、山陽電気鉄道（株）

○実施内容

- (1) 開会の挨拶/趣旨・概要説明
- (2) 予行演習
 - 1) 接続テスト
 - 2) 運用テスト
 - ①会議の入室テスト
 - ②情報共有・補足説明テスト
 - 3) 意見交換
 - …運用/防災リンク集サイトの課題、改善点、感想等
- (3) 閉会の挨拶

○実施状況

WEB会議による危機感の共有 予行練習開催概要

■予行練習の開催主旨
国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所では、「台風接近時等において関係機関に危機感を共有するためのWEB会議」を開催することを検討している。今後の運用開始に向けて関係者内で予行練習を実施し、会議の流れや課題点を確認する。

■WEB会議による危機感の共有 運用概要

項目	内容	項目	内容
対象河川	揖保川本川、中川、元川、林田川、栗橋川、引原川(国管理河川)	1)接続テスト	WEB会議に接続した状態で、映像・音声、アプリアの動作が正常に動作していることを確認
実施目的	台風の接近または接近による洪水被害に備えるための危機感の共有(市町村の防災対応等の支援)	2)運用テスト	「WEB会議による危機感の共有」のシミュレーションを実施し、情報共有・確認テスト
実施内容	・水位予測、雨量予測、台風進路、洪水情報、水防情報の確認説明等 ・関係機関による情報共有 ①減災協賛事業のアンケートにて希望が多かった事項 ②減災協賛事業のアンケートにて希望が多かった事項	3)意見交換	WEB会議運用開始に向けた意見交換を実施し、運用に関する課題・改善点、感想等 ・防災リンク集サイトの課題・改善点、感想等
実施タイミング	①台風接近予測(予報等の発表後)、異なる水位上昇が発表される等(注意の可能性のある緊急時には一定時間同時接続での実施も想定) ②減災協賛事業のアンケートにて希望が多かった事項		
参加者	兵庫県気象センター(減災対策推進協議会参加機関) 【国管理河川】 【県管理河川】姫路市、たつの市、宍粟市、太子町 【民間】西日本旅客鉄道株式会社、山陽電気鉄道株式会社		
使用するWEB会議ツール	Microsoft Teams(国定の会議URLを使用) ①減災協賛事業のアンケートにて参加者が利用可能であることを確認		
使用する情報共有ツール	防災リンク集サイト等 【サイトURL】 https://www.ky.mri.go.jp/hime/boosai/042.html		

予行演習実施状況

○緊急Web会議運用マニュアル



WEB会議URLの準備 ①開催者：Web会議URLの作成

任意の開催日時で「新しい会議」をスケジュール

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

取組を実施した効果、成果

- ◆ 各機関の意見を踏まえて、「緊急WEB会議」の運用方法を決定。
- ◆ 危機感の共有、市町村等への防災対応支援に活用。

重要水防箇所共同点検

- 姫路河川国道事務所では、越水・溢水の発生が予想され、**水防活動が必要とされる箇所**について、関係機関と**共同点検**を実施しました。
- 重要水防箇所評定基準の見方、洪水時の注意点を踏まえて、現地の状況を確認しました。

○日 時：令和5年8月25日（金）9:00～17:30

○参加者：姫路市（2名）、たつの市建設課・危機管理課（2名）、宍粟市次長・危機管理課（2名）、太子町企画政策課（1名）、姫路土木事務所所長補佐（1名）、姫路河川事務所（2名）



揖保川左岸35.2k付近
【宍粟市との共同点検状況】
神河橋



揖保川右岸2.2k付近
【姫路市との共同点検状況】
基礎地盤漏水



揖保川右岸11.8k付近
【たつの市との共同点検状況】
龍野新大橋

取組を実施した効果、成果

- ◆ 具体的な水防活動内容とともに現地の確認箇所を確認することによって、共通認識を持つことができた。
- ◆ 来年度以降も継続実施することで、知識の引継ぎを行う。

浸水歩行体験の実施

- 姫路市では、実践的な訓練により災害に強い安全、安心なまちづくりを目指し、10月1日に「姫路市総合防災訓練・国民保護訓練及び防災フェア」を開催しました。
- 本防災フェアにおいて、姫路河川国道事務所は姫路市と協力し、**姫路市民に浸水歩行体験を実施**しました。

- 実施日：令和5年10月1日（日） 10:00～15:00
- 開催場所：姫路市大手前公園、JR姫路駅周辺、白鷺小中学校、姫路港
- 主催：姫路市
- 参加機関：国・県・市防災関係機関・消防団・医療機関・協定関係・ライフライン関係・地区連合自主防災会

○浸水歩行体験



○避難時の注意点について説明



取組を実施した効果、成果

- ◆ 約200名の地域住民が参加し、浸水歩行体験を通して、水害の危険性や避難時の注意点を伝達。

体験型防災学習の実施

- 7月4日姫路市立余部小学校の授業の一環で、**姫路市危機管理室及び姫路市消防局と合同で体験型防災学習を実施**しました。
- 当事務所からは、災害対策本部車の乗車体験、照明車の操作体験、そして揖保川のマイクロモデル(模型)を用いて平常時から洪水時、そして破堤時に浸水がどのように広がるのか、余部小学校付近の**浸水被害の状況を児童と一緒に確認**しました。

- 日 時：令和5年7月4日(火)
10:30~12:00
- 場 所：姫路市立余部小学校
- 参加機関：姫路市立余部小学校3、4年生94名
姫路河川国道事務所 調査課、防災課
姫路市危機管理室
姫路市消防局

○体験授業の前に避難について学習



○災害対策車と照明車の説明



○マイクロモデルで浸水リスク確認



○段ボールベッドづくり体験 (姫路市) ○消防車の説明 (姫路市)

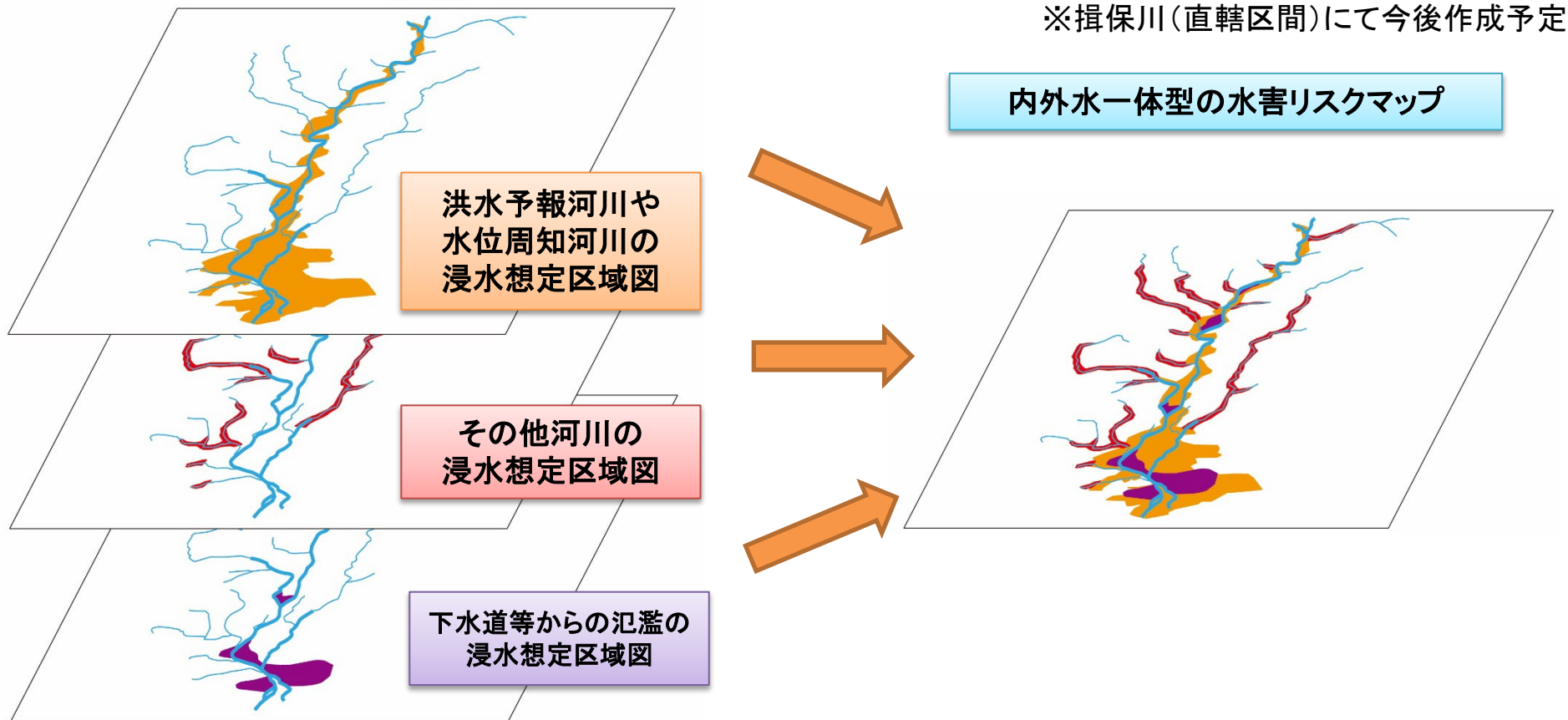


取組を実施した効果、成果

- ◆ 浸水エリアや破堤リスクを実際に目で見ながら理解してもらう他、災害対策車の乗車体験等を通して生徒たちの防災意識の向上を促進。

- 洪水予報河川や水位周知河川のみならず、その他河川や下水道等からの氾濫を明らかとすることで、**水害リスク情報の空白地の解消が重要**。
- 現在管理者別に作成・提供されている浸水ハザード情報図について、**洪水予報河川や水位周知河川の氾濫、その他河川の氾濫(外水氾濫)、下水道等からの氾濫(内水氾濫)を重ね合わせて表示**。

内外水一体型の水害リスクマップ作成



○姫路河川国道事務所では、加古川・揖保川のわかりやすい防災情報発信を目的として、**CCTV画像を一目で確認できる機能**や**防災リンク集**を、事務所ホームページで公開しています。

○防災支援情報（CCTV画像）

○防災関連情報（リンク集）

<姫路河川国道事務所HPで公開中！>

↓スマートフォン・PCからアクセス↓



<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.php>

令和6年度 出水期前までの取り組み予定

○姫路河川国道事務所では、令和6年度の出水期前までに以下の取り組みを実施する予定です。

○マイ・タイムライン作成講座

お天気キャスターによる近年のお天気講座に加えて、ハザードマップを使用し、一人ひとりの水害時の防災行動計画である「マイ・タイムライン」を作成。

加東市
3/10(日)実施予定

○洪水対応演習

加古川・揖保川での出水を想定し、関係機関と連携した洪水対応演習を実施。市町とのホットラインや气象台との洪水予警報手順の確認等の訓練を実施。

5/9(木)実施予定

○重要水防箇所合同点検

越水・溢水の発生が予想され、水防活動が必要とされる箇所について、関係機関と共同点検を実施。洪水時の注意点を踏まえて、現地の状況を確認。

5月下旬実施予定

○水文観測所合同点検

加古川・揖保川での出水に備えて、水文観測所にて水位情報が問題なく計測できているか等について、メディアを呼んで関係機関と合同点検を実施。

5月下旬実施予定

各機関の取組内容

○水防上危険が予想される場所の現状を把握し、災害時の初動対応等に備えるため、防災関係機関(姫路河川国道事務所・自衛隊・兵庫県・警察)合同で現地踏査を実施



重要水防箇所や現在整備に着手している調整池の現地踏査を行い、警戒が必要な箇所や有事における各機関の連携について確認した。



合同現地踏査の様子



揖保川重要水防箇所の確認



八家川の調整池整備箇所の確認

取組を実施した効果、成果

- ・ 防災関係機関と水害リスクのある箇所を情報共有できた。
- ・ 現地を実際に確認することで、災害発生時に迅速な対応が可能となる。

○姫路河川国道事務所、網干消防署と連携し、市内の小学生に、水害教室を実施



【実施日時等】

- 日時：令和5年7月4日（火） 10時40分～12時20分
- 場所：余部小学校 校庭及び体育館（余部区上余部643-1）
- 参加者：94人（小学校3年生、4年生）



揖保川マイクロモデルの体験

【実施内容】

- 水害の話
避難する場所やタイミング、防災クイズ等を実施
- 防災体験学習
揖保川マイクロモデルの体験
- 段ボールベッド・テント組立体験
避難所で使用する物品の使用を体験
- 災害対策本部車・照明車の展示
災害対策本部車、照明車の説明および車内見学
- 消防車両の展示
消防車両・消防資機材の説明



段ボールベッド・テント組立体験

取組を実施した効果、成果

・小学生に対して水災害教育を実施することで、自分たちが住んでいる地域の災害リスクを知り、災害時の行動を考えるきっかけを与えることができた。

○大手前公園をメイン会場として、大規模災害を想定し、SDGsやDXに関するテーマを掲げ、関係機関と連携した災害発生時の対応訓練及び防災フェアを実施した。



応急救護所開設・トリアージ訓練



防災クイズの様子



実施日時：令和5年10月1日（日）10時00分～15時00分
参加機関：国・県・市防災関係機関・消防団・医療機関・協定関係・
ライフライン関係等・地区連合自主防災会
参加者数：約600人 来場者：約3,800人

○訓練内容

- ・被害状況調査訓練
- ・道路啓開訓練
- ・ライフライン復旧訓練
- ・救助救出訓練
- ・応急救護所開設・トリアージ訓練
- ・避難所開設・運営訓練 など

○防災フェア

- ・防災関係ブース
- ・車両展示
- ・浸水歩行体験
- ・防災クイズ
- ・放水体験 など



災害時活動車両の展示



浸水歩行体験

取組を実施した効果、成果

- ・大規模災害に備え、防災関係機関との連携強化を図ることができた。
- ・訓練参加者や防災フェア来場者への防災意識の啓発につながった。

施策名：宍粟市総合防災訓練

参加者：自主防災組織、関係機関等



負傷者のトリアージ訓練の様子

◆実施内容

第1部訓練：地域内での訓練

第1部訓練では、豪雨災害を想定して、各地域で自主防災組織が一時避難所の開設や避難訓練などを実施。災害時における住民の安否確認の方法や負傷者の応急手当の仕方などを確認した。また、地域の被害情報などを市災害対策本部に伝達する連携訓練も行った。

第2部訓練：関係機関を交えた訓練

第2部訓練では、会場をスポニックパーク一宮に移し、消防や警察などによる救出訓練や関係機関による展示や体験コーナーを設置。「見て」「聞いて」「体験する」訓練を実施した。

◆取組の成果

①参加者

第1部訓練：1,257人 第2部訓練：約600人

②成果

1部訓練では豪雨災害を想定した避難訓練、応急対応訓練を行うことができた。また、2部訓練では関係機関の連携、市民の参加体験を通して防災意識の高揚につながった。訓練の中で確認できた課題や成果を精査し今後の訓練や取り組みに生かしていく。



土石流実験装置の見学

施策名：普及啓発活動の実施

対象者：一宮北中学校1年生



出前講座の様子

◆実施内容

①マイ避難カードの作成

防災について、総合学習での学びを深化させるため、身の回りにどのような危険があるか、逃げ時はいつか、避難場所はどこか、どのように避難するかなど、ハザードマップを活用して「マイ避難カード」の作成をした。

②段ボールベッドづくり、防災食の試食体験

避難所生活の模擬体験として、グループごとに段ボールベッドの作成と非常食の試食を行った。

③振り返り

学習を通しての気づきや感想を発表し意見交換を行った。学んだことを家族で話し合い普段から備えておくこと大切さについて確認した。

◆取組の成果

①生徒の感想

実際にハザードマップで自宅の危険性や避難する道を考えることができたので家族に話したい。非常食は思ったより食べやすくおいしかった。段ボールベッドの寝心地は予想以上に良かった。

②成果

防災について若い世代に伝えることのできる貴重な機会であった。家族防災の日について説明し家族で防災について考える機会をつくっていただくよう伝えることができた。



段ボールベッドづくり体験の様子

施策名：自主防災マップの更新

対象者：地域自主防災会会員



自主防災マップづくりの様子

◆実施内容

①自主防災マップ更新の必要性について

最近の豪雨災害や土砂災害は頻発化、激甚化の傾向にあること、また土砂災害特別警戒区域の指定、想定最大規模降雨による浸水想定により地域のハザード情報が変化していることをデーターをもとに学習し、自主防災マップの更新の必要性について確認した。

②自主防災マップづくり

新たなハザード情報を踏まえて、地域の特性や要支援者などの住民の状況について自主防災会ごとに話し合い地域の実態に則した自主防災マップづくりをした。

③振り返り

マップづくりで得られた防災上の地域課題や事前の対応策を自主防災会ごとに発表し、参加者全員で意見交換を行った。

◆取組の成果

①参加自主防災会

山崎町戸原地区4自主防災会

②成果

人口減少、高齢化、独居などの自治会が抱える課題が防災を考えるうえで最も大きな問題点となっており真摯な話し合いが行われた。さらに、自主防災会単位で若い世代も交えた講習会を計画していくことの大切さも提案され、実施に向けて取り組んでいる。



気づきや課題の発表の様子

● 豪雨による増水に対応するための水位調整

○兵庫県「ため池治水活用拡大促進事業」を利用し、ため池の治水利用に取り組む

（道谷池：たつの市新宮町篠首）

- ＜取組期間＞ 9月1日から10月31日まで
- ＜放流水位＞ 満水位から3m低い水位
（第一斜樋バルブの取水口の水位まで放流）
- ＜減水水量＞ 6,366.6 m^3



（大正池：たつの市揖保川町原）

- ＜取組期間＞ 9月1日から10月31日まで
- ＜放流水位＞ 満水位から0.4～0.6m低い水位
- ＜減水水量＞ 8736.8 m^3



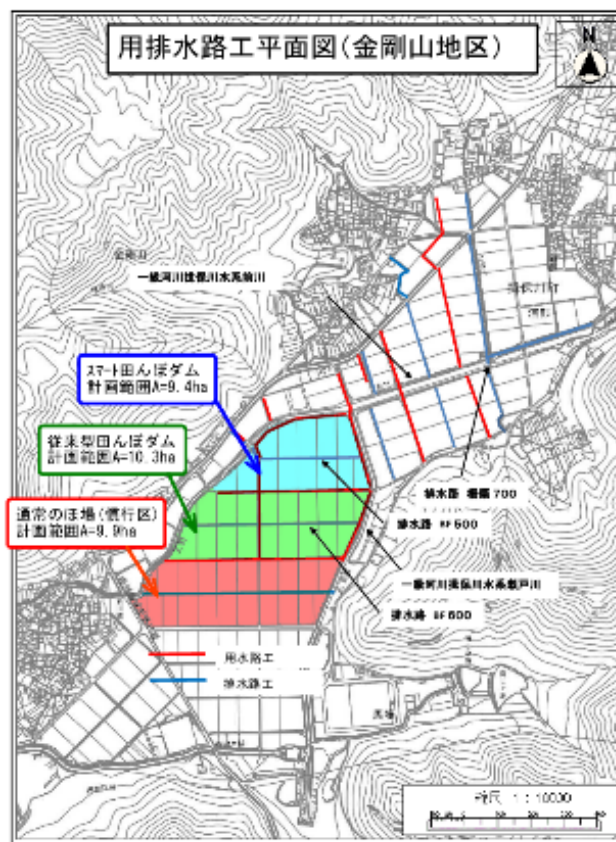
取組を実施した効果、成果

- ◆ 事前放流により水位を調整することで、雨水貯留容量を確保し、河川の急激な増水を防ぐことができる。

● 田んぼダムの設置により、急激な増水を防ぐ

○従来型の田んぼダムとあわせて自動給水排栓等を設置する「スマート田んぼダム」を設置

スマート田んぼダム事業「金剛山地区」



取組を実施した効果、成果

- ◆ 排水流量の抑制により下流域の河川の急激な増水を防ぐことができる。
- ◆ 実施総面積:536ha、せき板配布数:2,343枚(令和5年度末時点)

- 水位計の設置により、河川から内水側への逆流を察知し、内水氾濫を防ぐ

○日山排水樋門に水位計を設置



取組を実施した効果、成果

- ◆ 水位計の設置により河川から内水側への逆流を察知し、早期に樋門開閉の判断をおこなうことができる。

【たつの市】地域防災リーダー育成研修の開催

取組
番号 7・10・24
29・30

● 講師を招き、ひょうご防災リーダーに対し、フォローアップ講座を実施

○播磨科学公園都市定住自立圏構成市町と連携し「フォローアップ講座」を実施

○日 時：令和6年3月23日（土）
9：30～12：00

○場 所：上郡町役場第2庁舎
2階大会議室（上郡町）

○参加者：一般市民 計20名

【次第】

1. 開会
2. 防災講演
「地域防災リーダーのための、楽しい防災の伝え方」
講師 室崎友輔氏
3. ワークショップ
「楽しく学べる防災プログラムの体験」
4. 閉会

【たつの市】防災教育、避難訓練等の実施

取組
番号 7・10・24
29・30

● 防災出前講座や地域連携防災訓練事業を実施

○兵庫県「マイ避難カード」作成支援事業を活用し、防災出前講座及び講師派遣事業を実施

○日 時：令和5年7月2日（日）
10：00～11：30

○場 所：半田公民館

○参加者：市民 計35名
(半田自治会)

1. みんなで助かる地区防災計画
(神戸常盤大学 講師 室崎友輔氏)
2. マイ避難カードの作成ワークショップ

○日 時：令和5年7月15日（土）
13：30～15：30

○場 所：中央公民館

○参加者：市民 計31名
(立町・福の神・大手自治会)

1. DIGでまちの課題を発見しよう
(神戸常盤大学 講師 室崎友輔氏)
2. マイ避難カードの作成ワークショップ

○日 時：令和5年9月24日（日）
9：00～11：00

○場 所：東鯉崎公民館

○参加者：市民 計36名
(東鯉崎自治会)

1. みんなで助かる地区防災計画
(神戸常盤大学 講師 室崎友輔氏)
2. マイ避難カードの作成ワークショップ



※DIG…Disaster(災害)、
Imagination(想像力)、
Game(ゲーム)
災害図上訓練のこと

● 機器の更新とあわせて防災アプリを導入し、防災行政無線放送内容を通知

防災行政無線機器を更新し、無線通信機器及び高性能スピーカーを導入し、機能強化を図った。

防災情報アプリを導入し、防災情報の新たな伝達手段を確保した。

導入から年数が経過した、河川等監視カメラ機器を更新し、災害の迅速な状況把握に努めている。

令和5年度実施内容

＜防災行政無線設備＞

親局・中継局(2局)・再送信子局(5局)・屋外拡声子局(40局)の機器を更新

＜防災情報アプリ＞

全国避難所ガイドアプリによる防災行政無線放送内容の配信、通知

＜河川等監視システム＞

カメラ機器5か所・録画装置・ネットワーク機器等を更新



取組を実施した効果、成果

- ◆ 無線通信機器の更新や高性能スピーカーの導入により、正確な情報伝達が可能になった。あわせて、防災情報アプリの導入により、多様な情報伝達手段を構築することができた。

○太子町防災訓練の実施

太子町における大規模な災害発生を想定し、自主防災組織や地域住民、行政及び防災関係機関の参加により、実践的な訓練を実施。

今年度においては、西播磨広域合同防災訓練と合同開催した。



○訓練内容

- ・避難訓練
- ・避難所開設・運営訓練
- ・土のう工法訓練
- ・初期消火訓練
- ・災害VR体験
- ・物資輸送 等



取組を実施した効果、成果

- ・防災意識を高め、事前の訓練の必要性について理解を得ることができた。
- ・避難所の開設・運営を行う知識を身に着けた。
- ・西播磨管内の市町と連携することができた。



○災害時避難行動要支援者等に関する連絡会を実施

災害時避難行動要支援者ごとに避難場所、避難経路等を定めた個別避難計画の作成に向けての取組



- ・自治会毎に想定される災害や災害時避難行動要支援者登録制度、個別避難計画について説明を実施している。
- ・各自治会内の災害時避難行動要支援者の情報の共有や聞き取り調査を実施している。



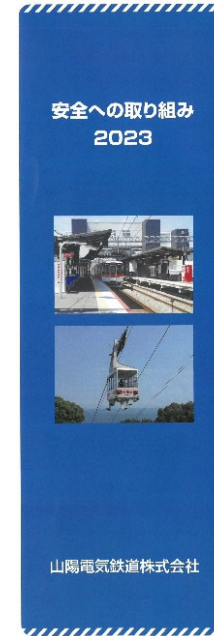
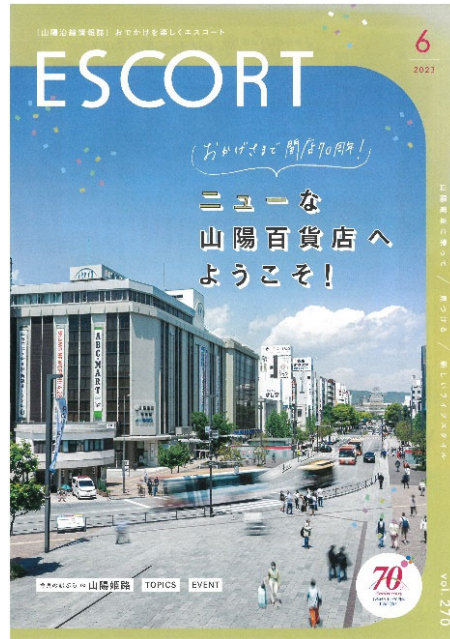
参加者
自治会役員、民生委員・児童委員、
社会福祉協議会、太子町企画政策
課(防災担当)、太子町高年介護課
(高年福祉担当)

取組を実施した効果、成果

- ・災害時避難行動要支援者の避難計画の重要性について、地域住民の理解を深めた。
- ・地域の避難行動要支援者について考えることで、自助、共助の重要性を再確認した。

沿線情報誌「エスコート」・「安全への取り組み2023」での周知

取組 番号	10・18・ 21・35
----------	-----------------



山陽電車の安全輸送の確保に向けた取り組み

安全 に向かって 出発進行! 「災害に備える」

question. 計画運休という言葉を知りました。どういったことですか

風が強くなって列車運行が危険な状態になる恐れがある場合や、雨が強くなって浸水や土砂崩れの恐れがある場合には、列車の運行を一時休止します。急な強風や大雨の場合は、突然の運行休止となり、多くのお客さまに迷惑をおかけすることになります。気象情報などで悪天候が予想される場合には、事前に運行休止する時間を決めてお知らせすることで、影響を少なくする取り組みを行っています。実施する場合は、駅の情報ディスプレイ・ホームページ・ツイッター等でお知らせします。

question. 風速や雨量のデータはどのようにして調べているのですか。

専用の風速計・雨量計でリアルタイムで計測しています。風速計は滝の茶屋駅・東二見駅・加古川橋りょう・洗川橋りょう・市川橋りょうに、雨量計は東須磨車庫・須磨浦公園駅・山陽明石駅・形的駅・妻鹿駅にそれぞれ設置しています。計測した結果は、防災情報システムによって、運行管理部門で確認しており、基準に達した場合は運行を休止させます。

自然災害に備えた取組み

防災の基本方針

- お客さま、従業員及び関係者の安全確保を最優先します。
- 被害状況や復旧見込み、最新の運行状況をわかりやすく発信します。
- 行政機関等と連携して対処にあたります。
- 安全を確保したうえで、速やかに運行再開に努めます。
- 継続して防災・減災に取り組みます。

大雨・暴風への備え

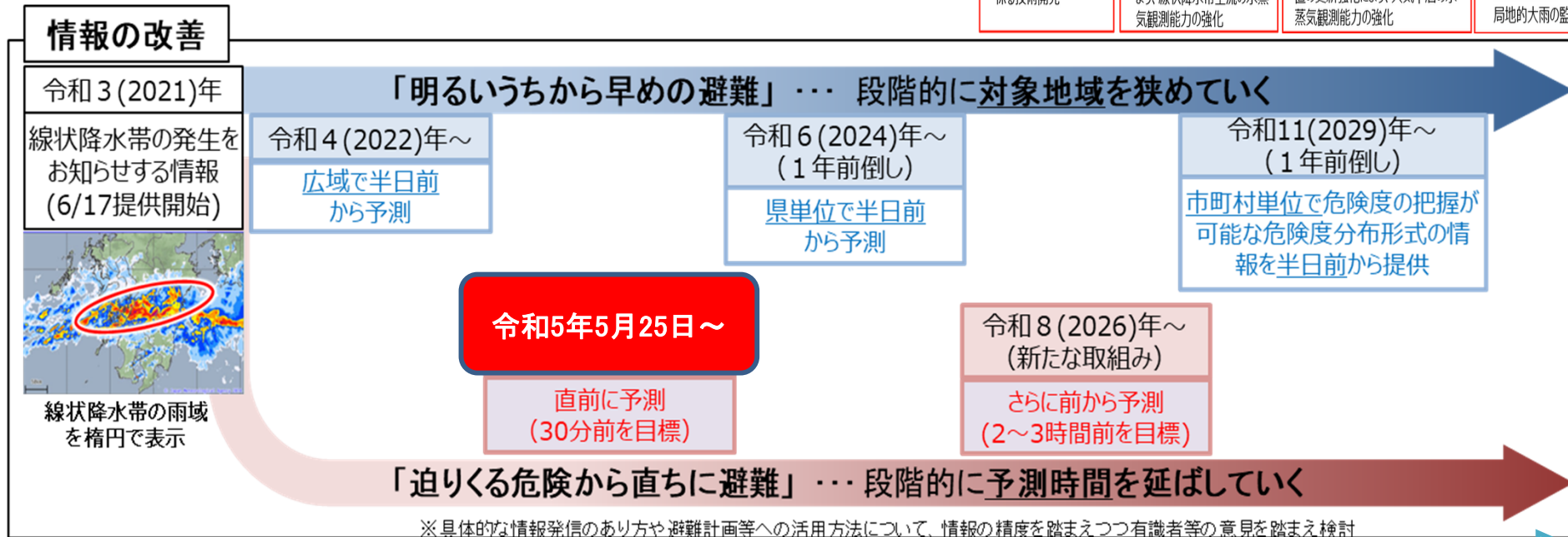
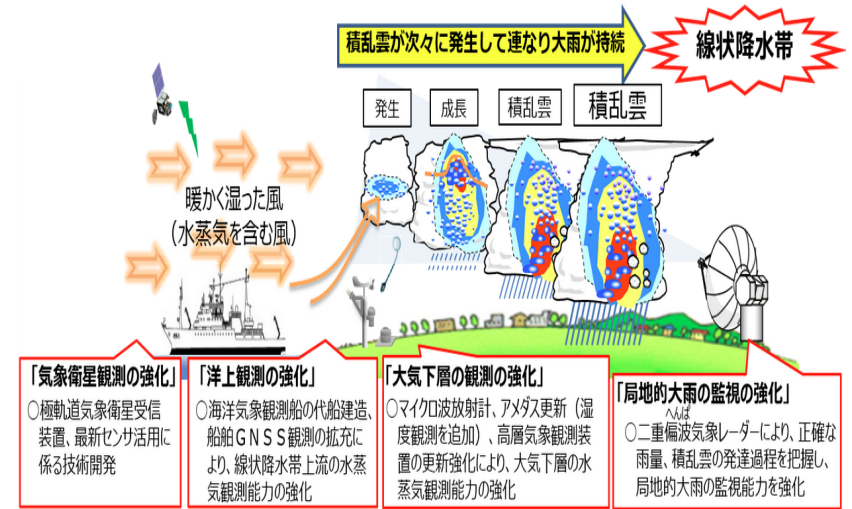
沿線に設置した風速計、雨量計、河川水位計や気象情報・防災情報を運転指令室の防災情報システムに統合し、気象の変化に対応しています。数値が規制値に達した場合や災害発生が警告されている場合は、区間を定めて列車の速度規制や運転見合わせを行います。また、台風接近時など大雨や河川増水が予想される場合は、運行休止を予告する場合があります。



神戸地方気象台の取り組み

避難行動に係る情報等の提供 (No.18関連)

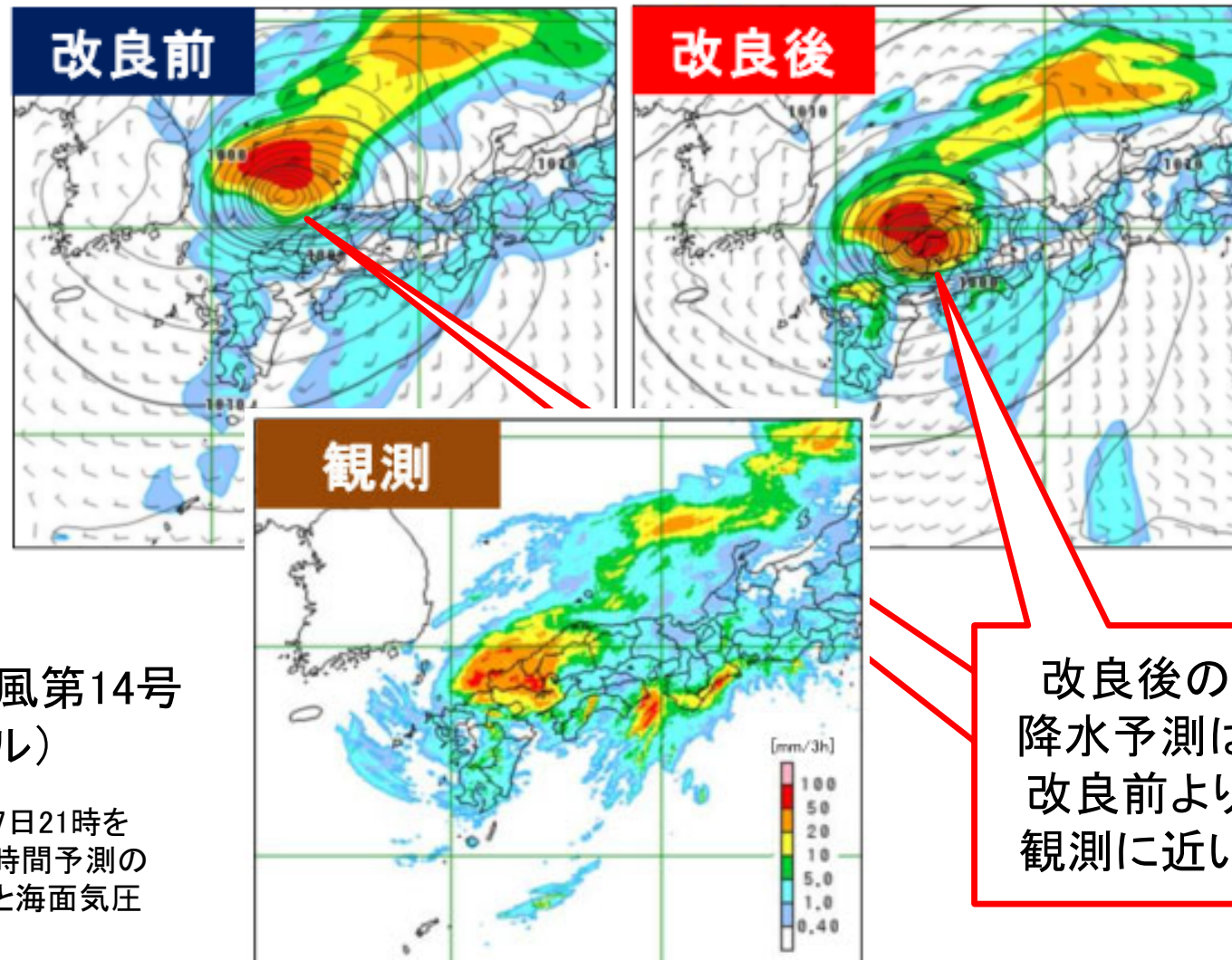
線状降水帯の予測精度を向上し、
最大30分前に線状降水帯の発生を予測



観測システムを強化、線状降水帯の発生メカニズムを探求し、予報精度向上を目指す

避難行動に係る情報等の提供 (No.18関連)

数値予報モデルの改良し、降水予測の精度を改善



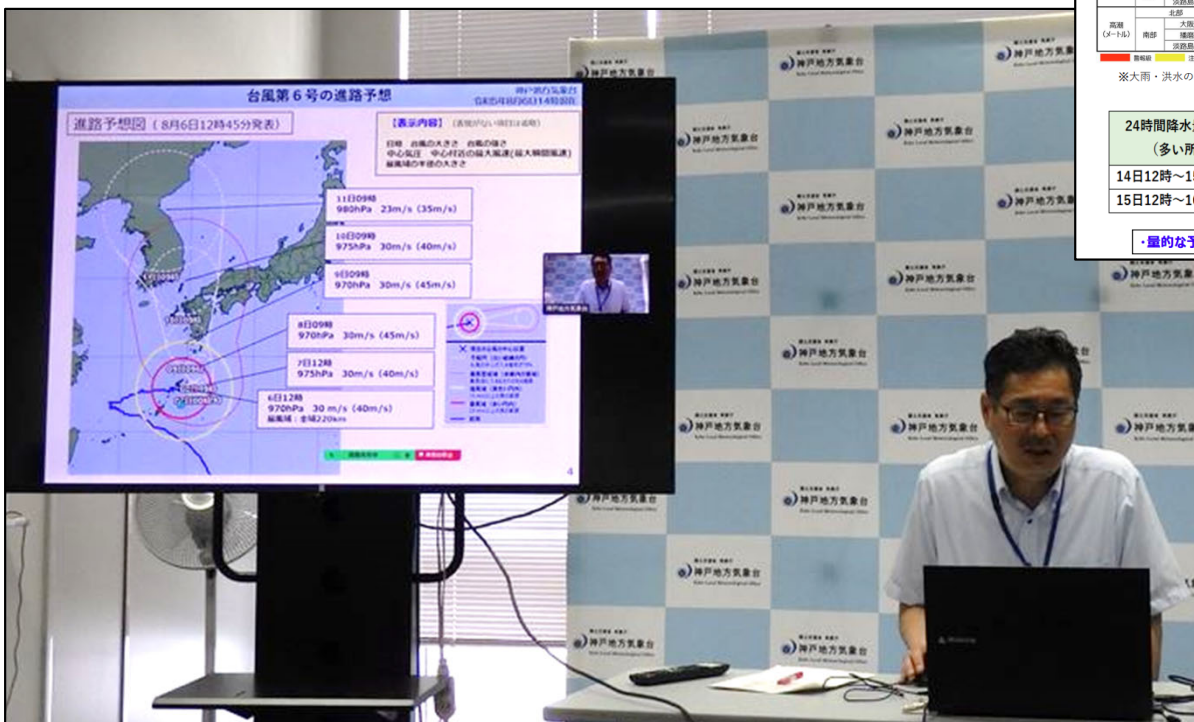
事例：
令和3年台風第14号
(全球モデル)

令和3年9月17日21時を
対象とした78時間予測の
3時間降水量と海面気圧

避難行動に係る情報等の提供 (No.18関連)

WEBを活用した台風説明会で、警戒を呼びかけ

6月1日(梅雨前線・台風第2号)
8月6日(台風第6号)
8月13日、14日(台風第7号)



令和5年 台風第7号に関する説明資料 神戸地方気象台発表 令和5年8月14日14時現在

14日					15日					16日													
		0-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-24時		
		観測	観測	夕方	朝の 比降	夜観	未観	朝7時	朝	観測	観測	夕方	観測	観測	未観	朝7時	朝	観測	観測	夕方	観測		
台風接近	北部																						
大雨・洪水	北部	10	20	20	20	20	30	30	40	40	50	50	50	50	30	30	30	30	20	20	20	20	
	南部	10	20	20	20	20	30	30	50	50	50	50	50	50	30	30	30	30	20	20	20	20	
大雨(土砂)	北部																						
	南部																						
雷	北部	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測
	南部	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測
風速(M-10)	北部	陸上	0	0	10	10	10	10	15	15	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	海上	12	12	15	15	15	15	15	20	20	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	南部	陸上	10	12	12	13	13	15	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	海上	12	15	15	16	16	20	20	25	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
波浪(M-1)	北部	2	2.5	2.5	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	4	4	3	3	3	3	2.5	2.5	
	南部	2	2.5	2.5	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
高潮	北部	1	1.5	1.5	2	2.5	2.5	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
	南部	2	2.5	2.5	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
	大津波	0.3	0.3	0.9	0.9	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.8	1.5	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.0	0.7	
	津波	0.5	0.2	0.5	0.9	1.2	1.2	0.6	0.5	0.8	0.8	1.5	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.0	0.4	1.2	
	沿岸	0.1	0.4	0.9	1	0.8	0.8	0.9	0.8	0.4	0.5	1.5	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.0	1.0	1.0	1.0	

※大雨・洪水の数値は1時間降水量
 ※警戒を發表するおよそのタイミング
 ※注意報を發表するおよそのタイミング
 ※警戒を發表する可能性のある時間帯
 ※注意報を發表する可能性のある時間帯

24時間降水量予想 (多い所)	北部 (ミリ)	南部 (ミリ)	風の予想			
			北部 (m/s)		南部 (m/s)	
			陸上	海上	陸上	海上
14日12時～15日12時	180	180	10	15	15	20
15日12時～16日12時	200-300	100-200	20	25	30	30
			30	35	25	30
			25	35	35	45

・量的な予想は最新の警報・注意報・気象情報を利用して下さい。

「防災メール」でも
防災気象情報を提供

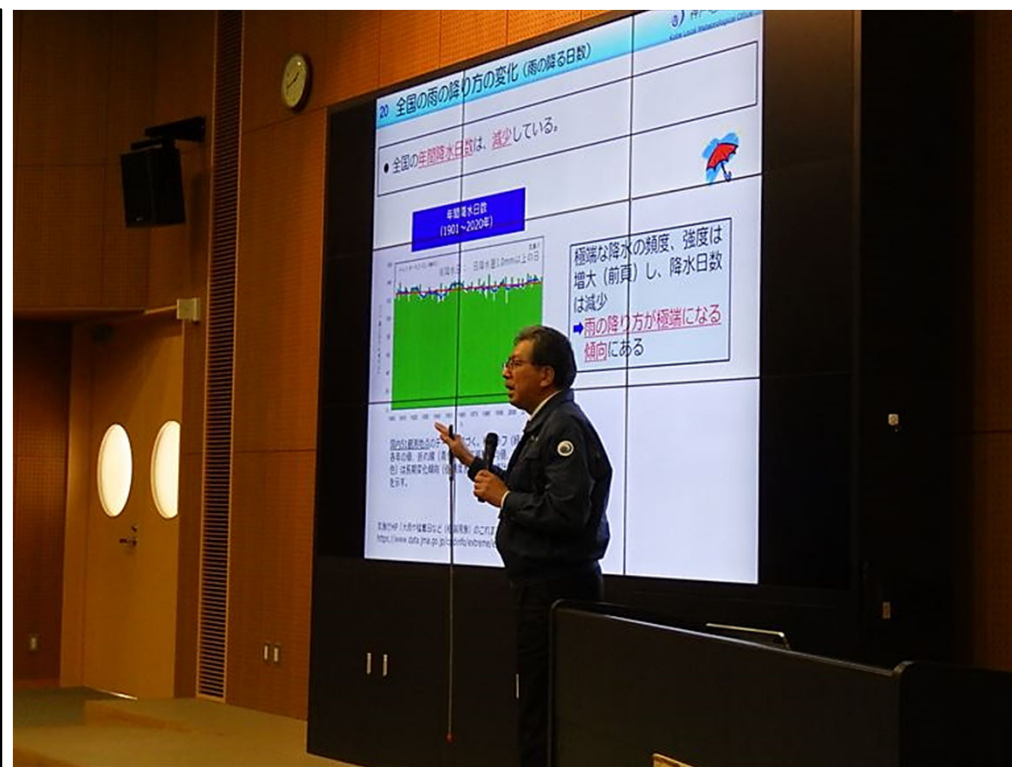
関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施

(No.18、21、30関連)

防災訓練等でのブース出展や、学校等での出前講座における
防災気象情報についての普及啓発



姫路市総合防災訓練でブース出展



龍野北高等学校での出前講座

関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施

(No.30関連)

自治体の防災担当者を対象にした、台風接近時における、中小河川の洪水の危険度が高まった時に、どのように避難情報を発令していくのかを模擬体験する、気象防災ワークショップを開催



Web形式による気象防災ワークショップ



気象防災ワークショップの様子



「兵庫県CGハザードマップサイト」のリニューアル

リニューアルサイトURL

<https://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>

兵庫県CGハザードマップサイトとは

- 河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域などを示す「ハザードマップ」（浸水想定区域図等）、水位など災害時の「リアルタイム情報」、過去の災害情報など「防災学習情報」を1つに集約した、平常時・災害時に利用できる防災ポータルサイト
- アクセス数は年間42万回（令和4年度）と、多くの方が利用

リニューアルの経緯

サイトオープン（平成17年8月）から18年が経過

【利用者意見】

- 掲載情報が多く閲覧しづらい
- 国のデジタルハザードマップサイトとどちらを見ればよいのか

【ひょうご事業改善レビュー意見(第5回外部委員会 令和4年9月12日)】

- 地域の災害情報が検索しにくいいため、学校の先生等が防災学習用の資料として容易に使えるよう検索システムを設けるなどの改善をすべき 等

**CGハザードマップのシステム改善に取り組み、令和5年10月24日にリニューアル**

- ①レイアウトを刷新、②国のハザードマップを組込み、③検索システムを改良

刷新ポイント1 レイアウトを刷新！

トップページのリンク先を3つに集約し、わかりやすくしました！

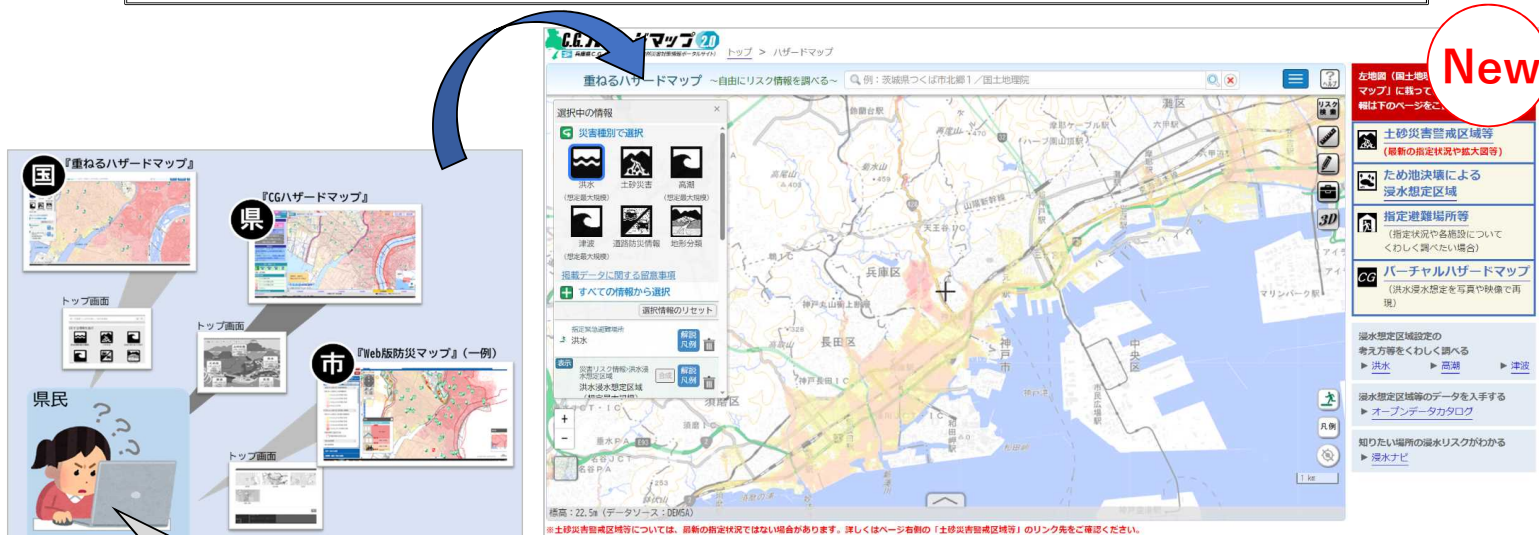


どのボタンを押したらいいの・・・
情報が盛り沢山・・・
とっつきにくいなあ～

刷新ポイント2

新たに整備された国のデジタルハザードマップサイトを組み込み！

国のデジタルハザードマップサイトが、国管理河川だけでなく県管理河川も含める形で今年7月にリニューアルされたため、これを組み込みました！



サイトによって、更新頻度が違うから、
区域の範囲が違うけど・・・
どこか1つのサイトでまとめて見れないかな・・・

刷新ポイント3

防災学習情報の検索システムを改良！

過去の災害情報を災害別、地域別、年度別で
選択できるよう改良し、検索しやすくしました！

災害種別で絞り込み 洪水、高潮、土砂、地震 主な被害地域で絞り込み 神戸・阪神、播磨、丹波、但馬、淡路



自分が住んでいる地域の災害記録を知りたいな～